

令和4年度サービス管理責任者等専門コース別研修企画案

■ 実施時間

1日（約6時間）

■ 開催形式

新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、以下の3つを想定

- ・ オンライン配信型
- ・ オンライン双方向型

■ 受講対象者

サービス管理責任者等基礎研修修了者で、児童発達支援管理責任者として従事する予定の者（OJT期間に該当する者）

■ 目的

- ・ 児童発達支援管理責任者として従事する予定の者が、サービス管理責任者等基礎研修では習得が難しい、児童期特有の支援提供の基本姿勢や個別支援計画作成プロセス等について学び、理解できる機会とする。

■ 研修の獲得目標

- ・ 児童発達支援管理責任者として従事するための基本姿勢を知る。
- ・ 支援提供や個別支援計画作成プロセス等、児童期特有のポイントを理解する。
- ・ 他事業所や他地域の取り組みを知る。

■ プログラム案

詳細は、別紙参照

別紙① オンライン配信型

別紙② オンライン双方向型

■ その他

- ・ 「他事業所や他地域の取り組みを知る（実践報告）」の講師候補想定については、ファシリテーター経験者の中から選出。将来的に講師を担える人材を育成する（経験できる）機会としていきます。
- ・ ここ2年の専門コース別研修（令和2年度はフォローアップ研修）受講者が、募集定員と比較すると少ない傾向が見られます。広報の方法及び募集時期等にも検討が必要だと考えています。

企画案作成者：(所属) 社会福祉法人福田会 広尾てくてく
(氏名) 大塚 慎之介

実施時間 6時間

時間	科目	獲得目標	形式	内容	講師候補想定
(10分)	事務連絡		事前撮影による配信	・研修における留意事項等の説明	事務局
(10分)	オリエンテーション	研修の獲得目標の確認	事前撮影による配信	・獲得目標の説明 ・研修全体の流れの説明	講師経験者
(60分)	児童発達支援管理責任者としての基本姿勢	児童発達支援管理責任者として従事するための基本姿勢を知る。	事前撮影による配信	・制度説明、各事業（ガイドライン）概要の説明 ・児童期の支援提供の基本姿勢 ・子どもの権利の説明 ・児童発達支援管理責任者の役割を確認	講師経験者
(20分)	障害児入所施設の現状	入所施設の現状を知ることで、地域における発達支援・家族支援の重要性を知る。	事前撮影による配信	・障害児入所施設の現状 ・障害児入所施設の役割等	講師経験者 又は 障害児入所施設 児発管経験者
(40分)	児童期における相談支援	児童期における相談支援専門員と児童発達支援管理責任者の関係について知る。	事前撮影による配信	・児童期における相談支援と児童発達支援管理責任者の役割と連携のポイント ・相談支援と児童発達支援管理責任者が実施する支援会議のポイント	相談支援従事者研修講師経験者 又は 講師経験者（相談支援専門員経験者）
(20分)	事例説明	事例の概要を知る。 ※事例は、今年度使用の「ヒロくん」事例を想定	事前撮影による配信	・事例概要の説明	オリエンテーション担当者
(150分)	児童期特有の個別支援計画作成プロセス等	アセスメント・個別支援計画作成・モニタリングの一連のプロセスについて、児童期特有のポイントを知る。	事前撮影による配信	・アセスメント・個別支援計画作成・モニタリングの一連のプロセスについて、児童期特有のポイントを講義で説明し、個人ワークとして部分的に取り組んでいく。 (途中に個人ワーク時間を設定)	【講師】 講師経験者
(45分)	他事業所や他地域の取り組みを知る (実践報告)	実務者の実践報告を聞くことで、他事業所や他地域の取り組みを知る。	事前撮影による配信	・パネルディスカッション形式で、各テーマで実務者より実践報告を行う。（グループワークの代替的位置づけ） 【候補テーマ】 ・事業所の特徴や地域性 ・支援提供で大切にしていること ・地域支援や連携の実践例 ・保護者・家族支援の実践例 等	【進行】※当日の進行含む。 オリエンテーション担当者 【実務者】 ファシリテーター経験者 ※現在、児童発達支援管理責任者の実務に就く者 (児童発達支援2名・放課後等デイサービス2名程度を目安) 計4名程度
(5分)	事務連絡		事前撮影による配信		事務局

講師経験者・・・児童発達支援管理責任者研修（分野統合前）及びフォローアップ研修にて講義を担当したことがある者（国研修を含む。）

ファシリテーター経験者・・・児童発達支援管理責任者研修（分野統合前）及びサービス管理責任者等研修にてファシリテーターを担当したことがある者

開催時間 9:30～16:30(うち休憩80分)
 実施時間 6時間

時間	科目	獲得目標	形式	内容	講師候補想定
9:30-9:40	(10分) 事務連絡			・研修における留意事項等の説明	事務局
9:40-9:50	(10分) オリエンテーション	研修の獲得目標の確認	講義	・獲得目標の説明 ・研修全体の流れの説明	講師経験者 or ファシリテーター経験者
9:50-10:50	(60分) 児童発達支援管理責任者としての基本姿勢	児童発達支援管理責任者として従事するための基本姿勢を知る。	講義	・制度説明、各事業（ガイドライン）概要の説明 ・児童期の支援提供の基本姿勢 ・子どもの権利の説明。 ・児童発達支援管理責任者の役割を確認。	講師経験者
10:50-11:00	(10分) 休憩				
11:00-11:20	(20分) 障害児入所施設の現状	入所施設の現状を知ることで、地域における発達支援・家族支援の重要性を知る。	講義	・障害児入所施設の現状 ・障害児入所施設の役割等	講師経験者 及び 障害児入所施設 児童発達支援管理責任者経験者
11:20-12:00	(40分) 児童期における相談支援	児童期における相談支援専門員と児童発達支援管理責任者の関係について知る。	講義	・児童期における相談支援と児童発達支援管理責任者の役割と連携のポイント ・相談支援と児童発達支援管理責任者が実施する支援会議のポイント	相談支援従事者研修講師経験者 又は 講師経験者（相談支援専門員経験者）
12:00-13:00	(60分) 昼休憩				
13:00-13:20	(20分) 事例説明	事例の概要を知る。 ※事例は、今年度使用の「ヒロくん」事例を想定	講義	・事例概要の説明	オリエンテーション担当者
13:20-15:40	(140分) ※うち休憩10分	児童期特有の個別支援計画作成プロセス等	講義 個人ワーク	・アセスメント・個別支援計画作成・モニタリングの一連のプロセスについて、児童期特有のポイントを講義で説明し、個人ワークとして部分的に取り組んでいく。 ★前半で講義及び手順説明を行ない、後半で個人ワークを行う。 ★個人ワークはプレイクアートルームにて実施。各ルームにファシリテーターを配置。質疑応答の機会を確保する。ルーム内では発表の時間を設ける。	【講師】 講師経験者 【ファシリテーター】 ファシリテーター経験者 ※人数はグループ数に応じて
15:40-16:25	(45分)	他事業所や他地域の取り組みを知る（実践報告）	事前撮影による 配信	・パネルディスカッション形式で、各テーマで実務者より実践報告を行う。（グループワークの代替的位置づけ） 【候補テーマ】 ・事業所の特徴や地域性 ・支援提供で大切にしていること ・地域支援や連携の実践例 ・保護者・家族支援の実践例 等 ※状況によっては、受講者から質問を受付けることも検討	【進行】※当日の進行含む。 オリエンテーション担当者 【実務者】 ファシリテーター経験者 ※現在、児童発達支援管理責任者の実務に就く者（児童発達支援2名・放課後等デイサービス2名程度を目安） 計4名程度
16:25-16:30	(5分) 事務連絡				事務局

講師経験者・・・児童発達支援管理責任者研修（分野統合前）及びフォローアップ研修にて講義を担当したことがある者（国研修を含む。）
 ファシリテーター経験者・・・児童発達支援管理責任者研修（分野統合前）及びサービス管理責任者等研修にてファシリテーターを担当したことがある者